令和6年度保育所等利用調整結果について

令和6年度の保育所等利用調整結果について、過去3年分の比較とともに、以下のとおり報告いたします。

1. 経過

令和5年11月1日（水）～11月10日（金） 一次受付 → 一次調整
 令和6年 2月1日（木）～ 2月22日（木） 二次受付 → 二次調整

2. 利用定員の推移（各年度4月1日時点） 単位：人

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用定員	2,062	2,132	2,132	2,114

3. 新規入所申込者数 単位：人

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	前年比較
R3年度	255	253	124	75	21	24	752	+26
R4年度	267	186	85	60	17	13	628	▲124
R5年度	255	169	60	54	14	7	559	▲69
R6年度	238	163	64	54	21	15	555	▲4

4. 利用保留者数（育児休業延長希望者を除く） 単位：人

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	前年比較
R3年度	60	48	21	4	5	7	145	▲187
R4年度	47	24	12	5	5	7	100	▲45
R5年度	28	10	6	4	3	2	53	▲47
R6年度	27	14	10	5	5	3	64	+9

5. 今後の対応

入所申込者数は昨年度とほぼ横ばいです。令和元年度に2施設、令和2年度に4施設、令和3年度に5施設、令和4年度に1施設が新規または変更で開園していること、就学前児童人口が減少していることから、利用保留者は減少してきましたが、今年度は9人増加しました。3歳児以上はマッチングの不調が原因で、受入枠には残があります。0～2歳児は受入枠が不足しているため、既存園に対して受入れ数増加を要請するとともに、空きのある園の案内を丁寧に行っていきます。また、受入れ数増加に必要な、保育士不足への対応として保育人材確保支援事業も、引き続き実施予定です。

利用保留となった児童への対応としては、認証保育制度を市単独事業として継続し、受け皿を確保しています。